

## 佐藤義美記念館

佐藤義美（1905-1968）は、生涯に 3,000 点以上の作品を発表した多作な児童文学者・作詞家である。佐藤の故郷である竹田市にあるこの美術館は、晩年を過ごした神奈川県逗子市の自宅をモデルにしている。館内には作品のほか、ジャズのレコードや西洋の衣類など、佐藤の愛用品が数多く展示されており、特に第二次世界大戦後の佐藤のライフスタイルを垣間見ることができる。

佐藤は 1905 年に竹田で生まれたが、7 歳の時に一家で鹿児島に移り住んだ。14 歳で竹田に戻り、さらに 1 年過ごした後、横浜に移り住んだ。その後、東京の早稲田大学で学ぶ。T.S.エリオットや W.H.オーデンなど西洋文学の影響を強く受けた。初期の著作は童謡から現代詩まで幅広く、反戦をテーマにした作品も発表した。1930 年代から 40 年代にかけての日本ではこのような意見は疑惑の目で扱われ、第二次世界大戦中、佐藤の作品は禁止された。

戦後、佐藤は児童文学に専念した。彼は常にこのジャンルを最も楽しんでおり、児童文学の芸術性を高めたいという願望をしばしば口にしていた。代表作『犬のおまわりさん』は、迷子の子猫を救う毛むくじゃらの警察官の物語である。この歌は今日でも人気がある。